

10:55受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19681報)

2019年5月27日10時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日10時8分頃、雑固体廃棄物焼却設備建屋において、水が漏えいしているとの連絡が緊急時対策本部に入りました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 10時00分頃 ・発生場所(設備名称) 雑固体廃棄物焼却設備建屋1階 焼却設備室A系 ・漏えい箇所 不明 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 約30m×8m ・拡大防止処置 系統停止操作を実施中 ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 漏えいした水は室内に留まっている <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有・無 (無)</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

12:09 受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19682報)

2019年5月27日12時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19681報にてお知らせした、雑固体廃棄物焼却設備建屋における水の漏えいについて、その後の状況をお知らせします。</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備(A)については、10時2分から停止操作を開始した。 なお、雑固体廃棄物焼却設備(B)は、設備点検のため停止中です。</p> <p>・漏えい継続の有無 確認中</p> <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C続】</p>
その他の事項の対応(注3)	※添付の有(無) なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

12:09受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19683報)

2019年5月27日12時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19668報でお知らせしたとおり、2号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)については、本日10時13分にSFP循環冷却系の運転を停止しました。</p> <p>冷却停止時のSFP水温度は27.1℃でした。</p> <p>【公表区分:E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

12:09 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19684報)

2019年5月27日12時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19561報でお知らせしたとおり、1号機および3号機の原子炉注水設備については、2号機燃料デブリ冷却性確認試験(STEP2)終了後の戻し操作として、本日11時27分、原子炉注水量を以下のとおり変更しました。 <1, 3号機原子炉注水量変更> 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.7m ³ /h → 1.5m ³ /h 3号機 給水系原子炉注水量 : 2.0m ³ /h → 1.5m ³ /h 【公表区分:E】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有 (無)

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

13:21 受

1/1

様式0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19685報)

2019年5月27日13時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第1968.1報他にてお知らせした、雑固体廃棄物焼却設備建屋における水の漏えいについて、その後の状況をお知らせします。</p> <p>10時43分 雑固体廃棄物焼却設備(A)に関わる焼却設備補機冷却水系を隔離し、 12時10分 当社社員が漏えい停止と判断しました。</p> <p>・漏えいの継続有無 なし</p> <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C統】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無 (無)

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

14:33後

1/6

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19686報)

2019年 5月27日 14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [5月27日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 5月26日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 5月26日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 5月26日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、5月28日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 5月23日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/6

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年5月27日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、地震やその他の事象による影響を考慮し、通常の使用値と異なる場合があることを留意し、正しく測定されていない可能性のある計測値も存在している。計測プラントの状態を把握するために、このような計測値の不確かさを考慮し、計測値の計測部から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m ³ /h ※6 CS系: 1.5 m ³ /h ※6 (5/27 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系: 2.0 m ³ /h ※6 CS系: 2.4 m ³ /h ※6 (5/27 11:00 現在)	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 19.1 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.9 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.8 °C (5/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 24.6 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 25.7 °C (5/27 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.3 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 20.5 °C (5/27 11:00 現在)	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 19.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.8 °C (5/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 25.1 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 24.8 °C (5/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 20.2 °C (5/27 11:00 現在)	
原子炉格納容器圧力	0.03 kPa g (5/27 11:00 現在)	2.89 kPa g (5/27 11:00 現在)	0.37 kPa g (5/27 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH): 14.70 Nm ³ /h (JP-A): 15.18 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (5/27 11:00 現在)	RPV: 11.39 Nm ³ /h ※7 PCV: - Nm ³ /h ※4 (5/27 11:00 現在)	RPV: 17.08 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4 (5/27 11:00 現在)	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	25.9 m ³ /h (5/27 11:00 現在)	12.18 Nm ³ /h (5/27 11:00 現在)	17.89 Nm ³ /h (5/27 11:00 現在)	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (5/27 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.07 vol% (5/27 11:00 現在)	A系: 0.13 vol% B系: 0.11 vol% (5/27 11:00 現在)	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.09E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 4.00E-04 B系: 指示値 1.37E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.40E-04 (5/27 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ (5/27 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ (5/27 11:00 現在)	
使用済燃料プール水温度	27.1 °C (5/27 11:00 現在)	- °C (5/27 11:00 現在)	26.2 °C (5/27 11:00 現在)	※5
FPC 貯蔵タンク水位	4.47 m (5/27 11:00 現在)	5.45 m (5/27 11:00 現在)	3.97 m (5/27 11:00 現在)	67.2 X100mm (5/27 11:00 現在)

【計測値に関する情報】

- ※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
- ※2: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器排気流量の検出限界値はNDと記載する。
- ※3: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器排気流量の検出限界値はNDと記載する。
- ※4: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。
- ※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次ポンプ停止中
- ※6: 作業に伴い原子炉注水装置停止中
- ※7: RPV/格納容器二相流層(FI-PSA-2U-001)→FD→用流層(FI-PSA-2U-004)

3/6

2019年5月27日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with 17 columns (5/12 to 5/26) and 10 rows (測定場所 ① to ⑩). Data includes numerical values and ND (Not Detected) with coordinates.

Cs-134 (Bq/L)

Table with 17 columns (5/12 to 5/26) and 10 rows (測定場所 ① to ⑩). Data includes numerical values and ND (Not Detected) with coordinates.

Cs-137 (Bq/L)

Table with 17 columns (5/12 to 5/26) and 10 rows (測定場所 ① to ⑩). Data includes numerical values and ND (Not Detected) with coordinates.

- <測定箇所>
①4号7/5建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤異固体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトバンカ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧異固体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトバンカ建屋南東

※I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑥は④が採取不可となったため、地下水流の上流側として選定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑩を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/6/2~)
※⑧は検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

2019年5月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路				物揚場排水路			
	5月24日	5月25日	5月26日		5月24日	5月25日	5月26日	
採取日	5月24日	5月25日	5月26日		5月24日	5月25日	5月26日	
採取時刻	7:58	7:52	7:45		7:53	7:57	7:50	
降雨量(mm/日)	0	0	0		0	0	0	
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中		解析中	解析中	解析中	
Cs-134(約2年)	0.66	ND(0.58)	ND(0.91)		ND(0.51)	ND(0.58)	ND(0.71)	
Cs-137(約30年)	8.9	8.7	7.7		2.3	2.1	2.6	
全β	15	16	16		4.9	ND(3.9)	ND(3.6)	
H-3(約12年)	-	-	-		-	-	-	

単位: Bq/L

	K排水路				BC排水路			
	5月24日	5月25日	5月26日		5月24日	5月25日	5月26日	
採取日	5月24日	5月25日	5月26日		5月24日	5月25日	5月26日	
採取時刻	6:00	6:00	6:00		6:00	6:00	6:00	
降雨量(mm/日)	0	0	0		0	0	0	
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中		解析中	解析中	解析中	
Cs-134(約2年)	ND(1.0)	ND(1.6)	0.73		ND(0.49)	ND(0.71)	ND(0.57)	
Cs-137(約30年)	11	9.4	9.8		ND(0.68)	ND(0.76)	ND(0.69)	
全β	20	15	12		ND(4.0)	ND(3.5)	ND(3.5)	
H-3(約12年)	-	-	-		-	-	-	

* 本枠内が今回公表データ。他は5月26日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

4/6

2019年5月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一56号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物揚場前	福島第一1~4号機取水口内北側(東防波堤北側)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日		
採取時刻	8:00	7:55	7:40	7:25	7:30	7:00	6:54	6:52		
Cs-134 (約2年)	ND(0.70)	ND(0.46)	ND(0.42)	ND(0.48)	ND(0.87)	ND(0.62)	ND(0.41)	ND(0.28)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.53)	0.50	ND(0.49)	1.4	5.2	ND(0.71)	ND(0.54)	0.31	90	10
全β	—	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	12	ND(16)	ND(17)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一港湾中央	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日	5月26日		
採取時刻	6:50	6:48	6:56	7:20							
Cs-134 (約2年)	ND(0.27)	ND(0.31)	ND(0.20)	ND(0.53)						60	10
Cs-137 (約30年)	0.33	ND(0.32)	ND(0.30)	0.83						90	10
全β	18	ND(17)	ND(17)	ND(16)						60,000	10,000
H-3 (約12年)	—	—	—	—						30	10
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—							

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
* 測定対象外の項目は「—」と記す。
* 物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

5/6

6/6

2019年5月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

	一時貯水タンク E (サンブルタンク E)		運用目標	告示濃度 限度 ※1	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年5月23日	2019年5月23日			
採取時刻	7:31	7:31			
貯水量 [m ³]	870	870			
セシウム134	ND(0.40)	ND(0.60)	1	60	10
セシウム137	ND(0.68)	ND(0.80)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(0.71)	ND(0.33)	3(1) (注)		
トリチウム	740	790	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

18:42受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19687報)

2019年5月27日18時25分

内閣総理大臣; 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19681報他にてお知らせした、雑固体廃棄物焼却設備建屋における水の漏えいについて、その後の状況をお知らせします。</p> <p>漏えい量は、約30m×8m×1mmより約240Lと推定されます。</p> <p>当該漏えい水の分析結果は以下の通りです。</p> <p>[採取日 2019年5月27日] 全β放射能 : 4.2×10³ Bq/L Cs-134 : 2.8×10² Bq/L Cs-137 : 3.8×10³ Bq/L</p> <p>漏えいした水については、現在、回収中です。</p> <p>現場状況については、分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C続】</p> <p>※添付の有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。